



広島ユネスコ協会ホームページ

をご覧ください

(<http://www.unesco.jp/hiroshima/>)

Eメールで情報提供を

(hiroshima@unesco.or.jp)

'04年度総会を開催

全国高校生大会の準備、 青少年の育成などに力点

広島ユネスコ協会は、去る五月十五日、広島国際学院大学立町キャンパスにおいて、二〇〇四年度総会を開催し、二〇〇三年度の事業・決算、二〇〇四年度事業計画・予算を審査し、いずれも原案どおり承認されました。

前年度事業については、既に当機関紙等で随時ご報告しているところですが、とくに、前年度の大きな事業としては、協会

結成三十周年記念事業があり、五百七十人を集めて県民文化センターで開催した講演と映画の集い（映画監督・新藤兼人さんの「生きていくかぎり、生き抜きたい」と題する講演と同氏の作品「午後の遺言状」上映）、結成三十周年記念誌「広島ユネスコ三十年」発刊、記念パーティーの開催などが報告されました。また、二百名の参加者を得て開催された平和の鐘事業、姉

国際平和文化都市広島市を支える教育現場と地域でのとり組みのすぐれた活動を顕彰し、また、世界平和に貢献する国際活動のあり方を求めて、第七回広島ユネスコ活動奨励賞応募者を公募の予定で現在準備中です。

募集要項等は概ね次のようになる見込みです。

▽対象／国際理解、国際協力、国際交流に関する継続的活

第七回広島ユネスコ 活動奨励賞公募予定

体

▽応募方法／募集要項（請求により郵送。学校、公民館等は直接送付）の応募票に必要事項を記入して協会へ提出。

▽部門／学校部門（広島市及びその近郊の小・中・高校）
社会部門（広島市及びその近郊の公民館などで活動する団体）

▽公募の期間／九月中旬から十一月下旬。

▽表彰／審査委員会を設置して審査し、十二月中旬に発表。

二〇〇五年一月中旬に表彰式を行い、賞状、楯を授与。

× × ×

積極的な応募を期待しますが、会員のみなさんには、推せん等のご協力をお願いします。

各部長からの報告を得て議事を進める'04年度総会



各部長からの報告を得て議事を進める'04年度総会

される全国高校生研究大会の開催準備強化◇同上高校生研究会を照準とした高校生国際理解セミナーの開催◇大邱ユネスコ協会との姉妹提携協定の更新◇「知っておきたいヒロシマ講座・広島のマスコミが伝えてきたもの」の開催◇メルマガジンの無料配信◇世界寺小屋運動など全国的課題への取組みの充実◇ユネスコ案内リーフレットの作成検討

以上のような事業に総額二百五十七万三千円余の予算案も併せて承認されました。

なお、役員改選は昨年度の役員が任期の途中であり（来年度改選）、国際部会長の藤井正一常任理事にかわって同部会の松尾昭彦常任理事が部会長に就任することだけの変更にとどまりました。

全国高校ユネスコ研究大会

'05年広島大会基本方針決定

第五十一回全国高校ユネスコ研究大会を二〇〇五年に広島で開催することを日本ユネスコ協会連盟から要請されていましたが、このほど当協会理事会、総会で承認されました。いよいよ開催に向かって準備に着手することになります。

当協会では、去る三月、このことを想定して大会準備会を設置したところですが、今後は、スケジュールに基づいて、この準備会が中心となり、内容の具体化を図り、協会一丸となって成功へ向けて進めることとなります。

ここで、総会で承認された基本的考え方を紹介します。
△趣旨▽第二次世界大戦の反省に立ち、世界の人々の相互理解を深め、教育・科学・文化の分野で国際平和と人類共通の福祉を促進するユネスコ精神に基づいて、全国の高校生ボランティアが集い、平和をテーマに私たちの住む地球が抱えているさまざまな問題について研究討議する。そして地球市民の一員として

何ができるかを考え、行動を起こすためのきっかけやヒントを見つける。
また、この大会を通して、参加者相互の交流を図る。
△主催▽(主)日本ユネスコ協会連盟、全国高等学校ユネスコ活動指導者協議会、広島県ユネスコ協会連絡協議会、中国ブロックユネスコ協議会、(財)広島平和文化センター(予定)、広島ユネスコ協会
△日時・場所▽二〇〇五年八月三日(水)～六日(土) 国立江田島青年の家、広島市及びその近郊

全国大会事前イベントを八月に開催

高校生国際理解セミナー

来年八月の全国高校ユネスコ研究大会受入れを控え、広島ユネスコ協会は、大会の主役となる高校生と指導者の確保という大きな課題をかかえています。

これをうけて、当協会では、NPO法人ひろしま生涯教育研究所、社団法人日本国際生活体験協会(EIL) 広島地区委員

会、広島市まちづくり市民交流プラザと共催して、「高校生国際理解セミナー」を次のとおり開催することとなりました。このセミナーには、広島地区の多くの高等学校の協力が寄せられ、現在、開催に向け、鋭意準備を進めています。多くの会員の参加をお願いします。

△趣旨▽世界的に紛争と対立が衰えない今日、改めて異文化の理解、共生が求められ、とりわけ若い世代の国際理解と、国際体験や学習が重要なテーマとなってきた。

そうした観点から、二〇〇五年八月開催の全国高校ユネスコ研究大会を意義あるものとするために、事前セミナーを実施する。

△期日▽二〇〇四年八月二十三日(日)午後一時から
△会場▽広島市まちづくり市民交流プラザ(中区袋町六二二)
△参加者▽広島地区高等学校生徒・教師、一般市民
△内容▽第一部「高校生のレポート」生徒による国際理解や全国大会のテーマ等を参考にした研究発表▽第二部「意見交換」第一部の発表をもとに、主要テーマについて展示/活動の記録、研究成果など。

一回は、宮島でのフィールドワーク)。受講者は、定員の三十名と昨秋の講座後、自主サークルで活動を続けている二名、松尾さん、私の計三十四名です。最終回に参加したのは十六名。講座終了後、自主サークルへの参加に興味を示してくれた人が約八名でした。

講座では、梶田先生の豊富な体験談を興味津津に聞きながら、広島の基本知識(人口、川の名前など)、平和記念公園と宮島の案内の英語表現について学びました。その中で、英語以前に、地元や日本文化のことをいかに知らないかを痛感。五月二十九日(土)の宮島現地実習は、あいにくの雨の中、十五名が参加。英語に興味を持つ熱心な受講生とともに、大変充実した講座になりました。

今後、自主サークル・メンバーには、協会が参加するイベント(べあせろべ等)で、ボランティア通訳として活動していただくことを考えています。

〔自主サークル活動日〕
・日時/毎月第一・第三水曜日 十八時三十分から
・場所/青少年センター
・会費/月千円 (理事 梶井朝子)

英語講座第四弾終了
自主サークルの結成も

通算四回目となる青少年センターと共催の英語講座が六月二日終了しました。今回は「広島を英語でガイド」の講座名で、講師にひろしま通訳ガイド協会の梶田祐子先生を迎え、これまでより一回多い全六回の講座を、毎週水曜日の夜、青少年センターで実施しました(追加し

大邱だより(2)

常任理事 藤井正一

【市民の生涯学習の実態】

一般的にいえば、市民たちは人々が集まる場所では無断で品物を並べて販売することが各地でみられるように、生涯学習よりも生きていくことのほうが優先してあります。一方、啓明大
学校学部や大学院の夜間授業では、多くの社会人の姿がみられます。

私のビジネス会話クラスでの受講生で四十歳代の主婦が在籍していますが、動機は現在の職業上の必要性からで、とくに敬語、謙讓語を学習することを望んでいます。この大学での最高齢は五十六歳の貿易会社の社長です。彼も職業上の必要性からであり、市民が教養のために学習するのは、これからのようです。幾つかの大学（日本では専門
学科）では老人大学の講座を設けて、教養・文化中心の講義をしており、財政上の潤いになっています。

大邱広域市には、広島市ほど多くの公民館はなく、区役所、出張所で会議室などを利用し、地域の人が英会話グループを構成して自主学習しており、私もあるグループに二度招待されま

した。

市役所の職業訓練として、社会教育館で障害者を対象に、また二つの女性館で女性を対象に低所得者の事業を行っています。

【高齢者の生きがい】

韓国社会で高齢者には儒教化が色濃く残っています。それだけに家系の存続、繁栄が主要な関心事でした。一九九七年の通貨危機以前は、定年退職すれば長男に退職金など全財産を譲渡して、子どもや孫の成長と発展ぶりを老後の楽しみとしていました。しかし、今日状況が変わりつつあります。

最近の国家統計局の報告では全世帯の三〇％近くが貧困層（四人家族で月10・5万円）になりつつあり、一世帯平均の借金が三千万ウォン（三百万円）となっており、全体で四百五十兆ウォン（四十五兆円）に達しています。長男が従来のように一族のまとめ役を果たせなくなりつつあります。

大邱広域市では広島市ほど趣味のグループが多くないようで、高齢者の夫婦で近郊の山登りやテレビで余暇を過ごすことが多いようです。老後の年金制度が確立していないので、社会的不安感を抱きつつ、高齢者の生き方、生きがいに変化しているといえます。

（藤井さんは、現在、韓国大邱広域市にある啓明大学校招聘専任教授として教べんを取られています。なお、当協会ホームページでも藤井さんの「韓国事情あれこれ」を掲載しています。）

大邱訪問団10月来広

大邱ユネスコ協会は、韓国大邱ユネスコ協会との姉妹協会提携事業として、二〇〇一年度から交互に訪問団を派遣していま

す。今年も、大邱協会から二十名余の訪問団が予定されており、そのスケジュール案はつぎのとおりとなっています。

◇十月十六日(土)広島港→松山市
（日本ユネスコ全国大会参加、市内観光など）

◇十月十七日(日)松山市→高知市
（高知市内観光） ◇十月十八日
（高知市→倉敷市（美術館、文化保存地区視察）→宮島泊、歓迎晩餐会） ◇十月十九日(火)宮島→

平和記念公園（資料館、原爆ドーム、韓国人原爆犠牲者慰霊碑）、
広島ユネスコ協会主催昼食会、市内散策→広島発

本年度は、協定書での有効期間最終年の四年目になります。今後の方針については、協議により決定することとなります

が、今回は、青少年交流に力を

注ぐ意向が示されています。

大邱で広島講座

韓国大邱ユネスコ協会徐千済会長から四月十九日付消印の航空郵便が北川会長の手に配達されたのは、四月二十三日でした。

内容は、六月二十九日に「第一回広島講座」を開催するに当たり、講師の招聘をしたので、広島ユネスコ協会から推せんしてほしい、という文面です。受講者は二、三十名、時間は四十分、講演のテーマは講師に任せし、講演後質疑応答を予定している、後は歓迎晩餐会という計画です。

広島ユネスコ協会は、これに
応えて、講師の派遣を検討いたしました。ちょうど、当協会の藤井正一常任理事（大邱だよりを執筆中）が、現在大邱広域市の啓明大学校招聘専任教授として大邱に在任されており、当人の了解を得て先方に連絡いたしました。

また、去る六月十四日には、北川建次会長からのメッセージを徐千済大邱協会会長宛送付いたしました。

その後、藤井さんからのメールによると、講演の内容をまとめている、とのことでした。また、受講者のほとんどは、今秋

来広される訪問団員ということ
です。（六月十八日、事務局長
山本隆信記）

「大邱の日」盛会裡に終了

去る五月二日、「大邱の日」
が広島市留学生会館で開催されました。当協会は、第四回目となる今回も積極的に参画いたしました。

この大邱の日は、啓明（けみ
よん）大学校国際学部日本語学
科の呂博東（ヨウ・ベクトン）
教授と金勤雨（キム・クンウ）
団長率の大邱海東剣道（ヘド
ン・クムド）交流団、そして韓
国一鍼学会の権五成（クオン・
オンソン）先生をゲストに迎え、
「交流」をテーマに、市民参加
型のイベントとして開催されま
した。大邱広域市への広島市民
の理解が一層深まり、相互交流
の機運が大きく盛り上がりまし
た。（常任理事 岡平裕次）

ヒロシマのアマチュア作家 松原博臣・映像の世界

とき／九月十一日(日)

午後二時～四時半
ところ／広島市映像文化ライブラ
リー

主催／映像文化ライブラリー

日本アマチュア作家連盟

協力／広島エイト倶楽部

広島ユネスコ協会

六作品上映・入場無料

ことしも「平和の鐘」 大邱・国内ユ協と結んで

二〇〇〇年に始まった「平和の鐘」国内ユネスコ統一行動。今年も八月十五日正午、広島市平和公園内の平和の鐘を鳴らします。

当日は、姉妹協会である韓国大邱ユネスコ協会との間で交換する平和メッセージ(第一回より継続中)を朗読・紹介した後、参加者全員で鐘を撞きます。

また、今年も、大阪南ユ協青年部も参加します。さらに、来年広島で開催される全国高校生ユネスコ研究会の事前セミナーとして八月に行われる高校生国際理解セミナーの参加校にも呼びかけて、当日、高校生による平和のアピールを行う予定です。

また、昨年、会場に平和メッセージの記帳所を設け、多くの参加者の平和希求の声の記帳されましたが、今年も同様に平和の声を記帳していただく予定です。(常任理事 亀井 章)

11月5日、国際交流・協力の 日、多数の参加・協力

今年も、「国際交流・協力の日」が二〇〇四年十一月五日に開催されます。

この催しは、広島平和文化センターを中心に多くの関係市民団体の参画のもとに、十八の事業を設定して、市民・在住外国人に参加を呼びかけて開催されるものです。

広島ユネスコ協会は、「紹介展示コーナー」(国際会議場地下ヒマワリ、午前十時半～午後四時)に参加しますが、会場の責任者でもありません。

去る六月九日、青少年センターにおいて、当協会の参加計画について第一回の実行委員会を開いて検討いたしました。

以下はその合意事項です。
◇多くの参加者を得て、当協会の活動を理解してもらおうよう努める。

◇具体的計画として、①各部署の活動状況をまとめてスライドで発表②掲示物で発表③小冊子を配布する。

◇参会者と積極的に交流する。
◇外国人客にそなえて通訳ボランティアを配置しておく。

◇当協会への入会手続きの準備
◇コピー、ジュースのサービスをするくつろぎコーナー
◇高校生等の発表の場
役員、会員のみなさんご協力をお願いします。(常任理事 松尾昭彦)

第116回ユネスコサロン

と き：2004年7月24日(土)
午後1時30分～3時
ところ：広島国際学院大学
立町キャンパスホール
(広島市中区13-7 広島朝日ビル)

テーマ：忘れ去られた人々
～南アフリカとイラン
での出来事～
講 師：広島経済大学助教授
藤本 義彦さん

フレッシュな風を 「べあせろべ」に

国際交流フェスティバルである第二十一回目のべあせろべ二〇〇四が、広島市内の国際交流・協力関係団体などの企画運営の下に、十月三日(日)、広島市中央公園芝生広場において開催されます。

内容はステージで楽器演奏・舞踊・歌・ゲームなど、テントを張ったブースでは世界の国・地域を紹介する展示や食・品物販売などがあり、参加団体関係者と来場者間との交流がなやかに行われます。

当初から参加している広島ユネスコ協会は、従来から、来場の子どもに楽しんでもらおうと伝承あそび(竹とんぼづくり・竹馬あそび・凧づくり)などやユネスコ活動紹介を行っています。

今年も高校生も含めた若い人の企画運営でべあせろべを盛り上げていこうと当協会の国際部会は張りきっています。高校生など若い人のべあせろべスタッフを募集しています。是非ご参加ください。(理事 藤井孝行)



- 4月
 - 5日/高校ユネスコ全国大会準備委員会案づくり
 - 6日/大邱の日実行委員会
 - 松尾常任理事(国際会議場)
 - 14日/高校ユネスコ全国大会準備委員会(事務所)
 - 21日/「ひろしまを英語で話そう」開講 平岡組織部長ほか(青少年センター)
- 5月
 - 2日/大邱の日 松尾常任理事ほか会員多数参加(広島市留学生会館)
 - 11日/会計監査
 - 14日/高校生「ユネスコ」ボランティアセミナー三者協議(広島メルパルク)
 - 15日/第一一五回ユネスコサロン「世界の集落・遺跡を訪ねて」広島大学大学院教授・洋画家 難波平人さん(広島国際学院大学立町キャンパス)
 - 15日/二〇〇四年度総会(広島
- 6月
 - 1日/高校生「ユネスコ」ボランティア説明・協議会打ち合わせ(二者協議)(広島国際学院立町キャンパス)
 - 2日/「広島を英語で話そう」閉講式 梶井理事ほか
 - 8日/高校生「ユネスコ」ボランティアセミナー高校への説明・協議会 北川会長ほか(広島国際学院大学立町キャンパス)
 - 9日/国際交流・協力の日実行委員会 各部会代表(青少年センター)
 - 10日/高校生「ユネスコ」ボランティアセミナー名称変更↓高校生国際理解セミナーとするで合意
 - 16日/「ひろしまを英語で話そう」有志によるグループ結成
 - 29日/韓国大邱ユネスコ協会「第一回広島を知る講座」講師 藤井正一常任理事
- 7月
 - 25日/映画「父と暮らせば」上映実行委員会 事務局長(女性教育センター)
 - 26日/高校生「ユネスコ」ボランティアセミナー開催要綱検討会(事務所)
 - 27/二〇〇四広島市・大邱広域市青少年交流事業実行委員会 松尾常任理事(中国放送)